

2018年 安全報告書



 北陸鉄道株式会社

目次

1.ごあいさつ	3
2.基本方針と安全目標	4
3.当社の安全管理体制	5
4.事故等の発生状況とその再発防止措置	6
5.輸送の安全確保のための取り組み	7
6.鉄道利用促進に対する主な取り組み	11
7.地元の皆さまとの連携とお願い	12
8.連絡先	12

1. ごあいさつ

平素は当社鉄道事業に対しまして、ご利用ならびにご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当社では、運転安全規範において「安全の確保は輸送の生命である」と定め、安全最優先とした方針を基に取り組んでおります。本報告書は鉄道事業法に基づき、鉄道輸送の安全に関する取り組みについてまとめたものです。

平成29年度は、前年に引き続き鉄道施設総合安全対策事業および訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金制度を活用した老朽化設備の更新や、鉄道係員の運転事故防止訓練の実施など、運転事故防止に向けて取り組んでまいりました。これからも職員一同、より一層の安全性とサービス向上に努めてまいります。

なお、平成29年度は、沿線の雇用環境が改善したことや大雪の影響により、前年度を上回るご利用をいただきました。各種企画電車の設定・販売強化や沿線のイベントに積極的に参画することで、鉄道線の魅力発信と増収活動を展開し、年間で305万人のお客様にご利用いただきました。

今後とも鉄道線のご利用とご愛顧をお願い申し上げます。

北陸鉄道株式会社

代表取締役社長 加藤敏彦

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

安全輸送を第一に掲げ、法令を遵守し誠実に事業に取り組みます。また、地域の発展や環境保全に貢献してまいります。

1. 『安全輸送の完遂』

サービスの原点は安全輸送

運転安全規範

綱領

- (1) 安全の確保は、輸送の生命である。
- (2) 規程の遵守は、安全の基礎である。
- (3) 執務の厳正は、安全の要件である。

(2) 安全目標

平成29年度は列車事故（衝突、脱線、火災）・鉄道人身事故0を目指し達成しました。本年度も過去の事故等を教訓に、社長以下職員一同無事故達成に取り組んでまいります。

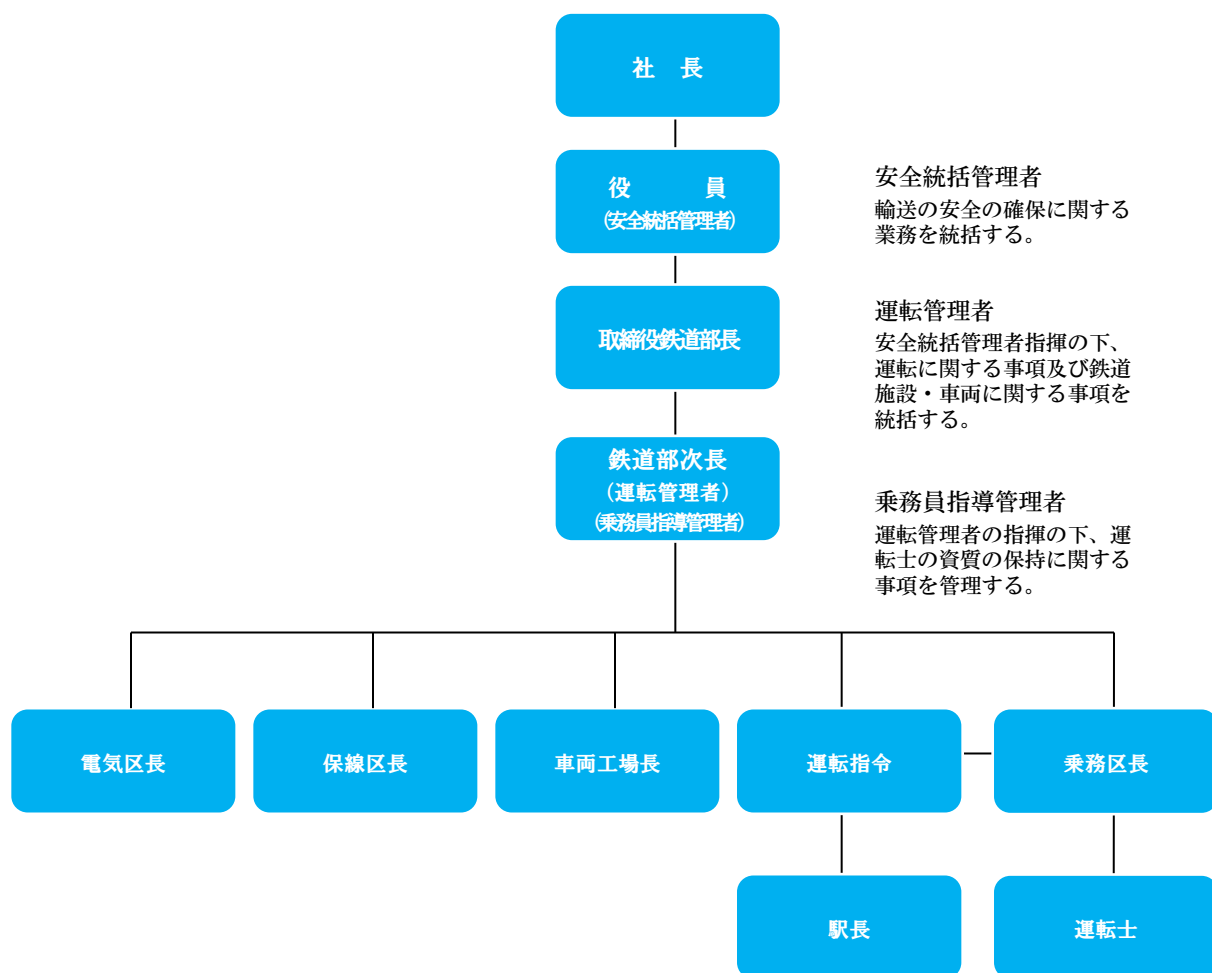
区分	項 目	目標値
数 値 目 標	列車事故 (衝突・脱線・火災)	「0」
	鉄道人身事故	「0」

3. 当社の安全管理体制

(平成30年6月現在)

■安全管理体制

平成18年10月に安全管理規程を制定し、社長をトップとする安全管理体制を構築・運用しています。安全統括管理者、運転管理者、乗務員指導管理者等の管理者それぞれの責務を明確にし、安全確保のための役割を担っております。



■情報の共有化と安全意識の高揚

毎月上旬に経営トップを中心に構成された『安全推進委員会』を定例開催し、安全に係わる情報の共有化と、事故防止に向けての取り組みについて意見交換を行っております。

4 . 事故等の発生状況とその再発防止措置

発生状況（平成29年4月から平成30年3月末まで）

（1）鉄道運転事故

列車脱線・衝突・火災など

発生件数 0件

（2）災害〔雪害や雷害等〕

雪害や雷害等の影響による運休

発生件数 14件

（3）輸送障害（30分以上の遅延や運休）

発生件数 4件

人身障害 0件

踏切障害 0件

その他 4件

29年度は、輸送障害が4件発生し、ご利用の皆様
に大変ご迷惑をおかけしました。

降雪時、踏切内に自家用車が進入し立ち往生する等
の影響で列車運休が発生しました。

（4）インシデント（事故の兆候）

平成29年度は発生しておりません。

（5）行政指導等

なし

（6）業務監査

平成29年8月21日・22日の2日間、国土交通
省による業務監査が実施されました。指摘事項等につ
いては速やかに対応しており、今後とも安全確保の取
り組みを継続してまいります。

5. 輸送の安全確保のための取り組み(1)

(1) 安全重点施策

当社では、「輸送の安全確保」を維持するために、鉄道施設の改良・改善施策を実施しております。

- ① 踏切道保安設備の整備
- ② 線路の重軌条化

(2) 教育・指導

知識・技能向上のため計画的教育訓練の実施

- ① 年2回以上の運転事故防止教習の実施
- ② 乗務員に対する再教育（事故再発防止）の実施
- ③ ヒューマンエラー防止への取り組みの実施
- ④ ヒヤリハット・事故の芽、情報等の収集

(3) 緊急時の対応訓練

- ① 北鉄金沢駅の消防設備取扱と避難誘導訓練の実施
- ② 消防署と合同で、災害復旧研修会の実施



運転事故防止教習



消防署との合同災害復旧研修会

5. 輸送の安全確保のための取り組み(2)

(4) 安全性向上に向けての設備投資

平成29年度は安全性の維持・向上を目的とし、鉄道営業収入558百万円に対して7百万円を保安防災対策費に充てました。また、鉄道施設総合安全対策事業および訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金制度を活用して258百万円を充て、老朽化した施設の改修・更新を行いました。

① 線路設備

・ レール

石川線 押野駅～野々市駅間、日御子駅～鶴来駅間で重軌条化を目的としたレール交換を行いました。

・ マクラギ

石川線 野町駅～西泉駅間で老朽化したコンクリートマクラギの更新を行いました。

・ 軌道道床

浅野川線 大河端駅～北間駅間で噴泥箇所の道床を交換するとともに、線路側溝を新設し、排水機能不良を改善しました。



日御子駅～鶴来駅間 レール交換



大河端駅～北間駅間 線路側溝新設

5. 輸送の安全確保のための取り組み(3)

- ・橋りょう

老朽化対策事業を活用し、石川線で5ヶ所、浅野川線で6ヶ所の橋りょう改良を行いました。

②信号保安設備

- ・踏切保安設備

石川線 曾谷踏切の踏切設備について、無警報対策を実施したほか、浅野川線三ツ屋駅～内灘駅間の踏切軌道回路の更新を行うことで、踏切事故防止を図りました。

③ 保安通信設備

- ・列車無線設備

石川線の列車無線を更新し、運転指令と乗務員との安定した通話を確保しました。



曾谷踏切 無警報対策



石川線 列車無線設備更新

5. 輸送の安全確保のための取り組み(4)

④電路設備

・電柱

浅野川線 磯部駅～割出駅間で老朽化した電柱を更新し、保安度向上に努めました。

・配電線

石川線 野町駅～新西金沢駅間、押野駅～野々市駅間、四十万駅～鶴来駅間で高圧配電線の裸電線を絶縁電線化し、保安度向上に努めました。

⑤車両設備

・インバウンド対応

石川線の旅客車両12両の行先方向幕および車内放送設備について、英語による案内放送を実施するとともに、石川線所属車両4両(2編成)について、法令で定められている定期(全般)検査を実施しました。



磯部駅～割出駅間 電柱更新



車両 全般検査

6. 鉄道利用促進に対する主な取り組み



お花見電車運行

初めて運行したお花見電車は、車内に石川線沿線・白山市の地酒5銘柄と特製弁当などをご用意。終点鶴来駅では『お花見MAP』を片手に、周辺の散策や夜桜をお楽しみいただきました。



あさでんまつり開催

6回目を迎えたあさでんまつり。天候に恵まれ多くの家族連れや鉄道ファンにご来場いただきました。鉄道・バスグッズ販売会では、順番待ちの列ができるなど人気を博しました。



ビール電車運行

16年目を迎えたビール電車は、申し込み開始から多くのご予約をいただく人気企画。飲み物に加え特製弁当や焼鳥が味わえるほか、車内ではフラダンスショーや抽選会を開催しました。



ほくてつ電車まつり開催

ミニSLや運転室体験・機関車との綱引きなど、来場者にお楽しみいただきました。沿線中学校吹奏楽部による演奏がイベントを盛り上げました。同日には「つるぎ一六大市ご当地グルメ大会」も開催され、石川線を多くの方にご利用いただきました。



金澤おでんでんしゃ運行

金沢の老舗おでんが堪能できる金澤おでんでんしゃを、11月に3便運行し、あつあつおでんに加えビールや特製弁当、ボジョレーヌーヴォーを提供し、お客様にお楽しみいただきました。

7. 地元の皆さまとの連携とお願い

平成29年度も踏切道で、遮断竿を折損する障害が発生しました。踏切道を通過する際は、一旦停止と左右の安全確認をお願いいたします。

また、線路内での置石も発生しています。ひとつ間違えば列車脱線事故となりますので、発見された場合は直ちに下記に連絡をお願いします。

石川線 (運転指令) TEL 076-272-0109

浅野川線 (運転指令) TEL 076-238-3001

8. 連絡先

安全報告書へのご感想、当社への安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

北陸鉄道(株) 鉄道部

TEL 076-272-2221